

「武庫川女子大学4年生の卒業研究として、入院患者の食欲不振対応食（かつらサポート食）の分析と新メニューの提案の研究」について

当科では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会にて審査され、病院長の承認を受けています。

<研究の背景・意義>

手術・化学・放射線療法の治療に伴う有害事象である食欲不振や嘔気嘔吐、味覚障害、下痢などは、体重減少や栄養状態の悪化へとつながり、治療の継続や完遂が困難となる場合が多いです。

現在、京都桂病院では、治療の副反応による食欲不振の患者さんを対象に、食欲不振対応食（かつらサポート食）として、複数のメニューから選択していただいております。

今回、過去1年間の食欲不振対応食（かつらサポート食）について、どのメニューがよく選択されているか、また選択されていないかについて、武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科給食経営管理学的研究室4年生が分析し、新メニューの提案を受け、メニュー見直しの参考にしたいと考えます。

<研究の目的>

食欲不振対応食（かつらサポート食）の人気及び不人気メニューの状況を年間ベースで知り、メニュー見直しの参考とします。

<研究責任者・研究組織>

責任者：京都桂病院 栄養科 科長 池田芙美

研究員：京都桂病院 栄養科 非常勤管理栄養士

<対象となる患者さん>

2024年7月1日から2025年6月30日の間に、京都桂病院に入院され、食欲不振対応食（かつらサポート食）を利用された患者さん。

<研究期間>

2026年3月31日までを予定しています。

<研究の方法・使用する項目など>

年齢、性別、入院病名、診療主科、入院病棟、食種、喫食率、食欲不振対応食（かつらサポート食）選択食種などを京都桂病院栄養科非常勤管理栄養士が、電子カルテと栄養科保管

資料から調査し、完全匿名化できた段階で、武庫川女子大学に持ち出し、武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科給食経営管理学的研究室4年生の学生がデータを分析し、新メニューを考案し、卒業論文にまとめ、京都桂病院に提出する。武庫川女子大学大学生による卒業論文は学内発表にのみ用いる。

<個人情報の取り扱い>

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。また特定の個人を識別することができないよう、研究対象者に番号を付与したうえで、データを提出します。

<研究成果の発表について>

研究結果は、武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科給食経営管理学的研究室4年生の学生が学内発表の卒業論文としてまとめますが、いかなる場合でも患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報が漏れることはありません。

<データ提供による利益と不利益>

研究に参加されなくても今後の診療を受けるうえで不利益はありません。この研究は過去の診療録などの情報を用いた観察研究です。研究に参加された場合、患者さんに対して利益・不利益のどちらも発生することはありません。予定外の治療や検査、薬が追加されることもありません。

<データ利用の拒否と中止>

診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先にお申し出ください。この研究から除外します。その場合でも今後の診療を受けるうえで一切の不利益はありません。

<本研究の資金源（利益相反）>

本研究に関して、利益相反関係にある企業等はありません。

<問い合わせ先>

京都桂病院
京都市西京区山田平尾町17番地
TEL：075-391-5811(代表)
栄養科 科長 池田芙美
栄養科 管理栄養士 川手由香